

“追突事故防止の一声を”

～車間は長め ブレーキは早めに～

運行管理者の皆さんの一声等によって、トラックの追突事故はやや減少傾向になっています。

しかし、追突事故はいまだ全対人事故の約半数を占めています。皆さんのタイミングの良い“一声”で、追突事故の撲滅を目指しましょう。

<追突事故防止の一声例>

車間は長め、ブレーキは早めに

走行中は、常に前車の急停車等に対応できるよう2秒以上の車間距離をとり、いつでもブレーキを踏めるよう正しい運転姿勢を保つ。

時間に余裕を

時間に余裕がないと、急ぎや焦りの心理が生じ、前車に接近しがちとなる。

到着が遅れそうな時は、まず会社に連絡を入れ、落ち着いて運転する。

わき見の限界は2秒以内

2秒間は、危険を回避するために最小限の時間。

前方から目線を離すときは、3秒先の安全を確認し2秒以内で戻す。

黄色信号は、まず止まる習慣を

黄色信号は「停止線を越えて進入してはならない」の意味。

「前車は行くだらうではなく、前車は止まる」と考え、まず停止するための運転をする。

休憩は、早めに確実に

眠気をもようし、無理して走行したため、ボーッとして前車の発見が遅れて追突するケースもあります。運転中、眠気や疲れを感じたら、短時間でも休憩をとる。